



題字・天野貞祐

第 84 号

平成 27 年 5 月 31 日発行

発行所 〒 112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03 (3946) 6352 (直通)

獨協同窓会 発行責任者 浅野 一

### 主な内容

会長任期3ケ年を振り返って	浅野 一	(1)
第2回 キャリア講演会報告	沖山秀司	(2)
目白だより 2015年度 大学入試合格者数	松本麻里子	(5)
第16回獨協同窓会ドクターズクラブ講演会開催される		(6)
平成27年度 総会・懇親会のご案内		(7)
獨協同窓会講演会		(7)
平成27年度 通常総会 議案書		(8)
募金実績報告 募金者名一覧		(11)
クラス会だより		(11)
私の近況 卒後十年		(14)
P T Aより「獨協祭・バザー用品ご寄付のお願い」		(15)
物故者名簿		(16)
OB会の活動状況など獨協祭への参加を募集しています		(16)
編集後記		(16)

<http://www.dokkyo-mejiro.com>

獨協同窓会 検索

## 会長任期3ケ年を振り返って

会長 浅野 一

平成24年6月に会長職を拝命してから早3年が経過しました。

130年を超える歴史と発展を続ける学園の旗頭を務める母校の同窓会の舵取りをしながら考えたことを思いつくまま記させていただきます。

鈴木荘太郎前会長から3年前に会長を引き継いでから最初に取り組みました課題として、①財務状況の改善と②会務の役割分担を幹事長集中型から委員会分掌型への移行などに取り組みました。

委員会分掌型への移行につきましては、委員会で汗をかいて頂く多くの方々参加を得ることができましたが、これは常に新しい参加者が加わることになり、経験不足による会務の周知徹底のため繰り返しの打ち合わせが必要となることが多々あり、現在でも努力中であります。

また、平成25年10月22日の獨協130周年に関連した周年事業の一環として同年春に学校から10年前（獨協

120周年）に発足した「獨協中学・高等学校育英奨学金基金（経済的理由で学業の継続に支障をきたしている生徒を支援）」への寄付要請（同窓会として1,000万円）があり、これを受けて新年度から獨協同窓会財務拡充寄付をスタートした。お陰さまで会員の皆様の



ご支援により 25 年 10 月と翌 26 年 10 月に分割寄付  
合計 1 千万円を寄付することができました。財務拡充  
寄付にご協力頂きました同窓会員の皆様方へ心より御  
礼申し上げ、引き続きの応援を宜しくお願い申し上げ  
ます。

次に、新しく加わって頂いた役員の方々のアイデア  
でスタートした事業を幾つかご紹介します。

一つは、現役の生徒を対象とした卒業生によるキャ  
リア教育講演会の開催です。その一回目は J T B の現  
会長田川博巳氏 (S 41 卒)、第二回目は J リーグマッ  
チコミッショナーの福島広樹氏 (S 41 卒) を招聘し  
て現役生徒との質疑応答も交えて心温まる講演会を開  
催し、今後の継続性が期待されます。と同時に、第一  
回目の講演会記事が独協通信に掲載されたことによ  
り、田川氏が仕事関係の獨協卒業生から改めて注目さ  
れたと聞かされました。同窓会報が意外と多くの方  
々に読まれているようです。

二つ目は、同窓会の P R と財務拡充のための会費納  
入と寄付のお願いを兼ねて卒年次同窓会 (特に還暦・  
古稀などの節目) ・職域別同窓会・クラブの O B 会な  
どに参加させて頂き、同窓会の活性化を図っていま

す。すでに獨協同窓会ドクターズクラブ・歯科医師獨  
協会などの年次総会には会長として参加させて頂きま  
した。

三つ目は、ALL 獨協構想についてです。獨協学園  
は、目白の獨協中学・高等学校の前身である獨逸学  
協会学校に始まり獨協大学・獨協医科大学・看護専門  
学校・埼玉獨協中高・姫路獨協大学と学園の拡がりをも  
って、時代の要請に沿った人材を数多く輩出して参  
りました。卒業生・職員など関係者の総数は 10 万人  
を超えていると推測でき、各校の同窓会の連合体で考  
えますと、家族を含め大きな絆でつながれた母体とな  
ります。まだまだ手を付け始めた段階ではありますが、  
獨協同窓会でも汗をかいて頂ける多くの方々のアイ  
デアの結集と行動で実現できるテーマであると思っ  
ております。

伝統とは、守るものだけではなく、磨きをかけて積  
み上げていくものと考えます。現在色々な意味で日本  
が新しい国の形を模索しているように感じます。獨協  
学園でも伝統を継承し、日本の将来に貢献できる人材  
を更に輩出し続けることが期待されます。これからも  
140 年・150 年に向けて母校の発展を願った 3 年間  
でありました。

## 第 2 回 キャリア講演会報告

広報委員 沖山 秀司 (昭和 49 卒)

同窓会では、渡辺校長先生ほか学校関係者と協議を  
重ね、学生たちのために社会で活躍する卒業生による  
講演会を企画してきました。平成 25 年 4 月 24 日に  
開催された第 1 回講演会 (演者=現 JTB 会長 田川博  
巳氏 昭 41 年卒) に続き、第 2 回講演会を次の通り  
開催致しました。

日 時：平成 27 年 2 月 7 日 (土) 13:30 ~ 14:30  
場 所：母校体育館  
講 師：昭和 41 年卒 福島 廣樹氏  
演 題：「我がサッカー人生 = 生涯サッカーへの道  
のり」  
対 象：中学 3 年生・高校 1 年生・高校 2 年生



### 福島廣樹氏 略歴

1960 年 西ドイツから帰国し入学  
(中学 1 年)。

デュセルドルフ時代に身  
に着けたテクニックを生  
かし、6 年間サッカー部  
で活躍。高校在学中に全  
日本チーム強化コーチと  
して来日した D. クラマー  
氏や釜本邦茂氏に会い、  
生涯サッカーの夢を抱く。

1966 年 獨協高校を卒業と同時に  
早稲田大学へ進学、釜本  
邦茂氏の導きによりサッ  
カー部に入部。

- 1970年 早稲田大学卒業後、西ドイツへサッカー留学。その後5年を経て西ドイツサッカー協会指導者S級ライセンスを取得し帰国する。
- 1975年 住友金属サッカー部（現 鹿島アントラーズ）コーチ。
- 1978年 本田技研サッカー部（現 ホンダ FC）監督、天皇杯に出場。
- 2005年 Jリーグ マッチコミショナー。
- 2009年 早稲田大学女子サッカー部コーチ。
- 2014年 同 監督に就任。



現代日本サッカーの父と称される D. クラマー氏



福島氏は、サッカーに強い興味を持つようになった経緯を語る中で、東京オリンピック（1964年開催）から現在に至る日本サッカーの歴史を紹介しました。特に氏が感銘を受けた日本代表の強化コーチとして1960年に来日したドイツ人 D. クラマー氏が当時の日本サッカー協会に提言した事が今の日本サッカー躍進に繋がっていると力説。

<クラマー氏の5つの提言>

- 強いチーム同士が戦うリーグの設立（Jリーグ）
- コーチ制度の確立（ライセンス制）
- 芝生のグラウンドを多く作る（当時の日本のサッカー場は、ほとんどが土のグラウンドだった）
- 国際試合を多く体験し、強豪と戦う
- 高校生以上のチームでは2名のコーチを置く



1976年 バイエルン・ミュンヘン監督時代のクラマー氏（写真右端）  
クラマー氏の隣はベッケンバウアー選手

アルゼンチン戦に勝利し、ベスト8となった東京オリンピック（1964年）に於ける日本代表チームの活躍は、当時高校2年生だった福島氏に、将来の日本サッカー躍進を夢み自らの人生設計を決定づけるイベントとなった。前述の提言を含め、必ずやプロリーグが誕生することを確信しての行動計画を立て始めたのです。

メキシコオリンピックで日本が3位に登りつめた立役者＝得点王 釜本邦茂氏は東京オリンピックに現役大学生としてプレーしていた。釜本氏の在学中は4年連続して早稲田が大学チャンピオンであったと同時に

1967年の天皇杯は早稲田が優勝を飾った。その釜本氏が獨協のグラウンドを訪れたのは福島氏の4年先輩であった鈴木彬之氏の尽力によるものだった。鈴木氏は獨協高校（サッカー部）を卒業し早稲田大へ進学しサッカー部に入部。釜本氏と同級で共にボールを蹴った。後輩思いの鈴木氏は、釜本氏を獨協の狭い・硬い・凸凹だらけのグラウンドに連れてきて高校生に国際級エースストライカーのシュートを見せたのだった。その後、福島氏は全日本の合宿を見学させてもらい D. クラマー氏のコーチぶりを目の当たりにした。



全日本合宿でのコーチング



全日本合宿に於ける D. クラマー氏と釜本邦茂氏

「サッカーが上手くなりたければ早稲田に来い！」との釜本氏の誘い通りに福島氏は早稲田大に進学した。

当時の日本サッカーにはアマチュアリーグである日本リーグが観客もまばらに開催されていた。また、コーチ養成制度などまったく存在していなかったため、福島氏は父の仕事の都合上、小学生時代を過ごしたドイツへの留学を決心した。ブンデスリーガのコーチ制度である S 級ライセンスを取得するための情報を集め出した。

そして 5 年間ドイツ暮らしを可能にする生活設計を立て、そのプラン通りに渡独、生計を立てるための就労とサッカー勉強を辛抱強く両立させ見事にライセンスを取得した。スポーツ大国ドイツでは州毎にスポーツクラブが発展し、グラウンドなど充実した競技施設やスポーツ理論に則った教育システムが運営されていた。S 級ライセンスの講義には心理学も必須であったし、各カテゴリー（A 級・B 級）ライセンス取得後は 1 年間のコーチ経験を積むことが義務付けられていた。福島氏は地元のユースチームで 3 年間の指導経験を積んで帰国する。

そして、サッカー指導者としての人生をスタートさせた。中でも福島氏が力を注いだ本田技研（ホンダ FC の前身）は強豪揃いの静岡県内の予選を勝ち抜き、天皇杯に出場させることが出来た。しかし、1993 年 J リーグ発足時に本田技研はプロ化しない方針をとる事となり、福島氏は責任あるマッチコミッショナーを遂行しつつ、母校早稲田の指導に邁進する道を選んだ。

福島氏は現在、サッカー指導者の一方、シニアリーグでプレーを続け生涯サッカーを実践しています。獨協サッカー部 OB 会としては、目白ダービーと称して毎年開催される学習院高校サッカー部 OB との定期戦でも奮闘を続けています。



巢鴨、養和グラウンドで獨協現役生とプレーに励む福島氏

福島氏は講演の締めくくりで、「夢を抱き実現させる目標を立てること、そして、それを追いつける努力をすること、それを可能にさせるには日々の勉強に励み、教養を高めることが肝要である。また、若い諸君にはチャンス＝可能性は無限にある。」と生徒達に語りかけました。

45 分に及ぶ講演の後、熱心にメモをとりながら聴講していた生徒達からは質問が寄せられ、笑顔で答えしていました。



講演会の後、校長室にて（向かって右側より）浅野一氏（同窓会会長）、渡辺和雄先生（校長）、福島廣樹氏、松本麻里子先生（副教頭・進路指導部長）、木原正義氏（同窓会幹事長）

サッカー部 OB 会ホームページ

<http://www.tsuna-tsuna.com/DFCOB.html>

ぜひご覧ください。

# 目 白 だ よ り

## 2015 年度大学入試合格者数

教頭・進路指導部長 松 本 麻里子

今年度は、数学と理科で新学習指導要領に基づく初めての入試でした。数学では新しい分野が、理科では新しく「基礎科目」が設定され、生徒にとっては戸惑いの大きい受験といえたでしょう。また、景気回復の兆しが若干見える中で、しばらく続いていた「文低理

高」の傾向もおさまりを見せてきた、と言われる入試でした。

そのような中で、現役生・過年度生ともに努力してきた結果をご覧ください。

### 2015 年度大学別合格者数 (推薦者も含め延べ人数)

進路指導部

#### <国公立大学>

東京大学	1
北海道大学	1
東京工業大学	1
弘前大学	1
秋田大学	1
信州大学	3
愛媛大学	1
首都大学東京大学	2
横浜市立大学	1
高崎経済大学	1
岡山県立大学	1
小計	14

#### <文科省所管以外>

防衛大学校	1
小計	1

#### <私立大学>

日本大学	51
千葉工業大学	36
明治大学	32
東京農業大学	31
中央大学	27
東洋大学	24
法政大学	21
立教大学	19
芝浦工業大学	17
帝京大学	17
専修大学	16
早稲田大学	15
北里大学	14
東京都市大学	14
獨協大学	13
学習院大学	13
東京電機大学	12
東京理科大学	12
成城大学	11
東海大学	11
國學院大学	10
明治学院大学	10
青山学院大学	9
東京工科大学	9

上智大学	8
成蹊大学	8
玉川大学	8
慶應義塾大学	6
駒澤大学	6
獨協医科大学	5
亜細亜大学	5
工学院大学	5
東京造形大学	5
武蔵大学	5
立命館大学	5
酪農学園大学	4
東京経済大学	4
東邦大学	4
日本獣医生命科学大学	4
武蔵野美術大学	4
明治薬科大学	4
産業能率大学	4
近畿大学	4
岩手医科大学	3
埼玉医科大学	3
国土館大学	3
順天堂大学	3
大東文化大学	3
東京医科大学	3
二松學舎大学	3
明星大学	3
聖マリアンナ医科大学	3
金沢医科	3
関西大学	3
帝京平成大学	2
杏林大学	2
昭和大学	2
拓殖大学	2
星薬科大学	2
愛知医科大学	2
京都造形芸術大学	2
同志社大学	2
北海道医療大学	1
明海大学	1
文教大学	1
文京学院大学	1
千葉商科大学	1

千葉科学大学	1
デジタルハリウッド大学	1
桜美林大学	1
多摩美術大学	1
東京慈恵会医科大学	1
日本歯科大学	1
武蔵野大学	1
東京工芸大学	1
東京未来大学	1
麻布大学	1
神奈川工科大学	1
神奈川大学	1
関東学院大学	1
神奈川歯科大学	1
湘南工科大学	1
鶴見大学	1
藤田保健衛生大学	1
龍谷大学	1
関西学院大学	1
兵庫医科大学	1
崇城大学	1
第一工業大学	1
センメルويس大学 (医)	1
小計	619

#### <併設校>

獨協大学	13
獨協医科大学	5
小計	18

\*獨協大学 (推薦2名、一般11名)  
獨協医科大学 (推薦3名)

#### <医学部医学科>

獨協医科大学	5
愛知医科大学	2
岩手医科大学	2
金沢医科大学	3
北里大学	3
杏林大学	2
埼玉医科大学	3
順天堂大学	1
昭和大学	2

聖マリアンナ医科大学	3
帝京大学	5
東海大学	1
東京医科大学	3
東京慈恵会医科大学	1
日本大学	1
兵庫医科大学	1
藤田保健衛生大学	1
センメルويس大学	1
小計	40

\*推薦：獨協医科 併設校3名

#### <歯学部>

神奈川歯科大学	1
鶴見大学	1
日本大学	3
日本歯科大学	2
明海大学	1
小計	8

\*推薦：日本歯科 指定校1名、  
日本 推薦2名

#### <薬学部>

岩手医科大学	1
北里大学	1
帝京大学	1
帝京平成大学	2
星薬科大学	2
明治薬科大学	4
小計	11

合計 711

#### <推薦入試等>

獨協医科推薦	3
獨協推薦	2
指定校推薦	6
公募推薦	2
A O入試	8

# 第16回獨協同窓会ドクターズクラブ講演会開催される

上記講演会が平成27年3月27日に獨協高校小講堂で開催され、終了後椿山荘にて懇親会が行われた。今回は東邦大学が当番校を勤めた。年々参加者も増え、

次年度の当番校である日本大学は、会員のみならず学生、教職員、PTAの皆様にも参加していただける講演会を企画中です。皆様のご参加をお待ちしています。



## 獨協同窓会ドクターズクラブを紹介させていただきます

獨協同窓会ドクターズクラブ会長 伊藤 公一  
(昭和51年獨協高校卒業・伊藤病院院長)

我が国の医師不足が社会問題として取り上げられ久しいところですが、獨協高校は130余年の歴史のなか多くの医家を輩出し、各地で医療・保健・福祉の分野に務めております。それら医師となった卒業生は近年の名簿を紐解くだけでも実に1200名以上にのぼり、出身大学は54校に及びます。

そして、これらのスケールメリットを生かすべく、獨協学園同窓会ドクターズクラブ (<http://www.ddclub.net>) と称した医師同窓会が、昭和35年卒の4名の先輩方(荒川泰行、鈴木荘太郎、藤田実彦、松島正浩)により平成12年に結成されました。以来、学術情報交換、親睦、高校への寄付、医学部進学推進を目的に地道な活動が続けられております。

発足時から毎年2月にはそれぞれの当番大学同窓会が責任を持って学術会議を開催しております。そこで現在までに東邦大学、日本大学、獨協医大、日本医大、東京医大、北里大学、聖マリアンナ医大、帝京大

学、昭和大学、埼玉医大、慈恵医大、杏林大学、順天堂大学、筑波大学、東海大学と15校の主要な進学先が一巡し、今年度は初回会議を担当した東邦大学が開催しました。

毎回の幹事、座長、演者は無論、全員が獨協高校出身者であり、世代や出身大学、診療科目を超越したユニークな研究会として、その存在が医学界で注目されております。

6年前より昭和51年卒業の伊藤公一が会長に、同級生の谷田貝茂雄が副会長に就任し、メーリングリスト内で自由に意見交換を交わしております。そして、今年は医療雑誌の誌面上で獨協学園同窓会ドクターズクラブの会員のみでバトンタッチ形式で行われた対談集を、株式会社ドクターズプラザより「獨協の医人達」というタイトルで書籍発刊しました。

同窓生の皆様には、このユニークなコミュニティを、是非ともお見知りおき頂ければと存じます。

## 獨協ホームカミング Day

同窓生の聖地、目白の獨協を見学に来ませんか。青春のページが鮮やかに蘇ることでしょう。チャンスは年に2回。6月20日の総会と椿山荘での懇親会。そして9月19、20日の文化祭です。

どちらもご家族同伴でお出かけください。また、この日に合わせて同期会やクラブOB会等を開催してみませんか。きっと懐かしく、楽しいひと時となることと思います。

# 平成27年度 総会・懇親会のご案内

平成27年度総会・講演会・懇親会を下記のとおり開催いたします。今年は総会に先立ち心臓血管研究所附属病院の永島和幸先生（昭和51年卒）をお迎えして講演会を行います。同窓生だけでなく、教職員、PTAの皆様、さらに医学部を目指す学生たちを対象に講演していただきます。

総会終了後例年どおり椿山荘ギャラクシーにて懇親会を開催いたします。

**本年度はご家族の同伴も可といたしました。**また、長寿のお祝いとして喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿、百寿の同窓生には招待状をお送りし、当日は参加された方々をご紹介いたします。ご家族お誘い合わせの上ご参加ください。

## 平成27年度 総会・懇親会

開催日時：平成27年6月20日（土）

場所・時間：講演会 ダヴィンチの観た心臓～しなやかなポンプを守る～

講師：永島和幸先生（心臓血管研究所附属病院）

会場：獨協中学・高等学校 小講堂

受付開始：午後2時40分

開会：午後3時00分

総会 会場：獨協中学・高等学校 小講堂

受付開始：午後4時00分

開会：午後5時00分

懇親会 会場：椿山荘・ギャラクシー

受付開始：午後6時00分

開会：午後6時30分

懇親会費：（会場受付でお支払い下さい。）

<懇親会費>

昭和28年以前の卒業生…………… 無料

昭和29年～平成23年の卒業生… 5,000円

平成24年～平成26年の卒業生… 2,000円

平成27年の卒業生…………… 無料

同伴者…………… 3,000円

## 獨協同窓会講演会

開催日：平成27年6月20日（土）

会場：獨協中学・高校 小講堂

対象：同窓生、学生、教職員、PTAほか

主催：獨協同窓会ドクターズクラブ

獨協中学・高校卒、獨協医科大学卒で現在心臓血管研究所附属病院にてご活躍中の永島和幸先生をお迎えして同窓会講演会を開催いたします。

心臓の一般的な話から今問題になっている疾患まで、動画を交えてわかりやすく講演していただきます。同窓生だけでなく、学生、教職員、PTAの方々、特に生物部や医師を目指している学生さんにはぜひ聞いていただきたいと思います。

皆様お誘い合わせの上、ご気軽にご来場ください。

【講演】

ダヴィンチの観た心臓 ～しなやかなポンプを守る～

講師：永島和幸先生（心臓血管研究所附属病院）

受付開始：午後2時40分

開会：午後3時00分

【永島和幸先生プロフィール】

1957年5月生まれ。酉年のおうし座。  
獨協中学・獨協高校・獨協医科大学卒。

1983年、獨協医科大学循環器内科。

1991年、心臓血管研究所スタッフ。

現在、心臓血管研究所冠動脈疾患担当部長。



# 平成27年度 通常総会 議案書

開催日：平成27年年6月20日(土)

## 《 総 会 付 議 事 項 》

第1号議案：平成26年度事業報告の件  
第2号議案：平成26年度収支決算の件  
第3号議案：平成27年度事業計画書の件

第4号議案：平成27年度収支予算書の件  
第5号議案：会長および監事選出の件  
第6号議案：副会長および幹事長選出の件

### 第1号議案：平成26年度事業報告の件

#### 【概況】

3年目を迎えた浅野一會長のもと、平成26年度事業計画に則り事業を施行した。獨協学園創立130周年事業の一環として、獨協中高より奨学金基金拡充を目的とする1000万円の寄付要請があり、平成25年度に500万円、平成26年度に残りの500万円の寄付を行った。前年に引き続き会員に財務拡充のための寄付を募り、スマイルボックスと合わせおよそ147万円を越える支援が集まった。

平成25年度に新たな事業として始めた「第一回キャリア教育講演会」(講師 昭和41年卒の現JTB取締役会長田川博己氏)に引き続き、今回はJリーグマッチコミッションの福島広樹氏(昭和41年卒)を招聘して「第二回キャリア教育講演会」を中3、高1、高2の生徒と教職員に講演していただき、大変好評を博した。

同窓会の活性化に向けた活動として、同期会、各クラブのOB会に参加するとともに、獨協同窓会ドクターズクラブ、歯科医師獨協会など各職域ごとの交流会に参加して親睦を図り、同窓会への支援をお願いした。さらに「ALL獨協構想」が活発に議論され、獨協大学の同窓生で組織された「ホテルの会」(同会には獨協高校の卒業生も多い)に参加し、ホテル業界関連の方々との交流を行った。

学校との交流も文化祭参加、卒業生への記念品贈呈、成績優秀者への記念品授与等積極的に行った。さらにPTAの活動に対し援助金として10万円の授与を行った。

文化祭に参加し、展示を行った第6代長井長義校長の小冊子を製作した。

#### <各種委員会活動>

##### ①総務委員会

合計7回開催され、全体的な会務および会計について検討を行った。

##### ②広報委員会

合計2回開催され、独協通信、ホームページ、獨協祭の催し等について議論した。

##### ③常任幹事会

合計2回開催され、総務委員会で検討された課題について、常任幹事の意見を求めた。

##### ④幹事会

春、秋の2回、例年通り市ヶ谷の私学会館で行い、重要事項の議決を行った。

##### ⑤会計検討会

#### <広報>

①独協通信82、83号を発刊した。

②歴代校長紹介シリーズとして第6代長井長義校長の小冊子を作成した。

③文化祭に参加し、第6代長井長義校長の紹介、クラブOB会や職種別OB会の活動紹介を行った。

#### <名簿管理および事務局の管理業務>

会員情報については、個人情報守秘義務を遵守し、会員

名簿とともに同窓会事務局内に厳重に管理されている。新規会員情報や既卒の会員の情報更新については、速やかに個人データ管理システムへ入力処理した。

### 第2号議案：平成26年度収支決算の件

平成25年度に同窓会運営資金の柱である会費収入の漸減対策として新卒業生に対し会費4年分の前納制度(半額に優遇)および、財務拡充寄付制度を導入したことで新たな財源を確保しましたが、スマイルボックスと合わせて26年度も262万円の収入を得ました。この紙面にてご協力に御礼申し上げます。しかしながら、懇親会による事業収入はマイナスとなりました。いっぽう、引き続きコスト意識をもって活動し約80万円の支出を減らすことができました。創立130周年にあたり母校より1000万円の奨学金基金の寄付要請がありましたが、同窓会として2事業年に分割、残り半額の500万円を寄付させて頂くことができましたことをご報告申し上げます。

平成26年4月1日より平成27年3月31日までの①収支決算 ②期末時点における貸借対照表 ③収支差額金処分案 以上につき承認をお願い致します。

### 第3号議案：平成27年度事業計画の件

#### 【概況】

依然として会費の納入率が低く、同窓会の財政健全化に向けてさらに努力する。比較的若年層の会員の関心が薄く、会費納入率、行事の参加率とも低い。各年齢層において経済的問題を含め諸問題があると思われるが、問題を分析し改善策を検討する。

好評を博した昨年の生徒に向けた「キャリア教育講演会」を今年も開催し、同窓会の年度行事の1つとして定着すべく検討する。さらに、会員を対象にした講演会やPTAとの合同講演会を開催し、積極的に広報活動に務める。

「ALL獨協構想」については、獨協学園すべての同窓会と共同で事業を進め、獨協同窓会ドクターズクラブ、歯科医師獨協会、ホテル業界等職域ごとの交流をバックアップし、会費納入のお願いを行う。また、会員が気軽に利用できるお店を紹介するなど、「同窓の絆」をキーワードに様々な領域で獨協人の輪を広げていくことを目的として活動する。

毎年各年代において同期会やクラブのOB会が行われているが、さらに還暦、喜寿、傘寿・古希等の会や、卒後10年、20年、30年、、の会等を積極的に企画提案し、同窓会活動の広報と会費納入のお願いを行う。

2015年は5年に1度の会員名簿発行の年に当たるが、個人情報保護法の観点から今年度も会員名簿を作成しないことが幹事会で承認された。新規会員情報や既卒の会員の情報更新については、速やかに個人データ管理システムへ入力処理を行う。

①会員のために何ができるか ②学校、生徒のために何ができるか。以上の課題をさらに検討し、優れた組織と適切な人材を集めて魅力ある同窓会を目指してこれにあたる。

#### <広報>

①独協通信84、85号を発刊する。

- ②文化祭に参加し、クラブOB会や職種別OB会の活動紹介を行う。また、学生たちが気軽に入れるよう工夫し、入場者の増加を図る。
- ③ホームページを検証し、多くの会員に閲覧していただけるよう工夫する。

#### 第4号議案：平成27年度収支予算案の件

<予算>

母校のさらなる発展を力強く応援できる組織体としての同窓会を実現させるために、充実した活動と併せて財政基盤の強化を続けます。そのために、引き続き収支差額金を確保できる予算作りと行動を励行し、毎年基本財産を厚くして参ります。

増収策として、

- ①昨今活発化しているクラス会、学友会活動OB会および業種別同窓会等の団体の活動を獨協祭等でPRするお手伝いをさせて頂くと共に、これらの会員の方々に会費納入をお願いしていきたくと思います。
- ②会費の口座自動引き落とし制度の周知と利用促進を行い、会費納入忘れを減らし、未納会員に対しても積極的な働きかけを行います。
- ③「財務拡充寄付」を継続し、芽生えてきた寄付文化を定着化させる仕組み作りを行っていきます。
- ④新たな収入源を設ける必要があることから、法人協力金等の検討を行います。
- ⑤引き続きコスト削減を行って参ります。

### 獨協同窓会 平成26年度 収支決算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

#### 収入の部

科 目	26年度決算額(A)	26年度予算額(B)	(A)-(B)	摘 要
1 入 会 金	6,300,000	6,300,000	0	30,000円×210名
2A 一 般 会 費	6,175,000	6,500,000	△ 325,000	5,000円×1235件
2B 新 卒 会 費	1,150,000	1,400,000	△ 250,000	新卒生 115名
3 寄 付 金	1,471,547	1,040,000	431,547	
財務拡充寄付	1,215,000	1,000,000	215,000	
スマイルボックス	256,547	40,000	216,547	
4 事 業 収 入	239,150	420,000	△ 180,850	
懇親会会費	202,000	420,000	△ 218,000	
協賛金	37,150		37,150	
5 資 産 運 用 収 入	65,449	50,000	15,449	利息等
6 名 簿 積 立 金 繰 入	0	0	0	
7 一 般 事 業 積 立 金 繰 入	3,000,000	3,000,000	0	
8 雑 収 入			0	
合 計	18,401,146	18,710,000	△ 308,854	

#### 支出の部

科 目	26年度決算額(A)	26年度予算額(B)	(A)-(B)	摘 要
1 事 業 費	13,154,580	13,420,000	△ 265,420	
(1)総会費	1,548,853	1,600,000	△ 51,147	総会、懇親会費
議案書印刷		0	0	
懇親会費	1,548,853	1,600,000	△ 51,147	
(2)会報費	1,971,216	2,100,000	△ 128,784	82、83号制作費
(3)事業通信費	2,786,888	2,800,000	△ 13,112	会報発送費等
(4)OB会補助金	180,000	250,000	△ 70,000	
(5)学校補助費	788,720	700,000	88,720	
卒業生記念品費	320,720	300,000	20,720	
図書費	200,000	200,000	0	
学友会補助	268,000	200,000	68,000	
(6)奨学金基金への寄付	5,000,000	5,000,000	0	
(7)ホームページ費	129,600	120,000	9,600	
(8)獨協祭参加費	411,991	400,000	11,991	
展示物制作費、他	136,591	230,000	△ 93,409	
小冊子作成費	275,400	170,000	105,400	
(9)その他事業費		0	0	
(10)慶弔費	120,000	200,000	△ 80,000	
(11)渉外費	217,312	250,000	△ 32,688	諸会費等
(11)名簿作成費		0		
2 事 務 費	2,437,305	2,840,000	△ 402,695	
(1)事務運営費	611,937	700,000	△ 88,063	事務通信費、振込手数料等
(2)管理費	865,500	1,000,000	△ 134,500	事務局費等
(3)会議費	341,886	400,000	△ 58,114	
(4)旅費交通費	237,280	350,000	△ 112,720	
(5)名簿管理費	367,200	340,000	27,200	
(6)雑費	13,502	50,000	△ 36,498	
3 予 備 費		50,000	△ 50,000	
小 計	15,591,885	16,310,000	△ 718,115	
4 収 支 差 額 金	2,809,261	2,400,000	409,261	
合 計	18,401,146	18,710,000	△ 308,854	

貸借対照表

平成27年3月31日現在  
(単位:円)

利付国債	7,000,000	(基本財産) 基本金	24,000,000
		(運用財産) 事業積立金	19,751,993
定期預金	19,000,000	(1)名簿積立金	2,000,000
		(2)一般事業積立金	17,751,993
現預金	20,561,254	収支差額金	2,809,261
	46,561,254		46,561,254

収支差額金処分案

次のとおり、全額積立金に繰入のこととしたい。

(単位:円)

基本金	0
名簿積立金	0
一般事業積立金	2,809,261
計	2,809,261

※ 定期預金は4行に預託。

獨協同窓会 平成26年度決算 および 平成27(2015)年度 収支予算書(案)  
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

収入の部

科 目	27年度予算額(A)	26年度決算額	26年度予算額(B)	(A)-(B)	摘 要(計画)
1 入 会 金	6,300,000	6,300,000	6,300,000	0	(30,000円×210名)
2 会 費	7,600,000	7,325,000	7,900,000	-300,000	
一般会費	6,300,000	6,175,000	6,500,000	-200,000	(5,000円×1260件)
新卒会費	1,300,000	1,150,000	1,400,000	-100,000	(新卒生130名)
3 寄 付 金	1,250,000	1,471,547	1,040,000	210,000	
財務拡充寄付	1,000,000	1,215,000	1,000,000	0	
スマイルボックス	250,000	256,547	40,000	210,000	
4 事 業 収 入	400,000	239,150	420,000	-20,000	
懇親会会費	300,000	202,000	420,000	-120,000	
協賛金	100,000	37,150		100,000	
5 資 産 運 用 収 入	50,000	65,449	50,000	0	利息等
6 名簿積立金より繰入	0	0	0	0	
7 一般事業積立金より繰入		3,000,000	3,000,000	-3,000,000	
8 雑 収 入	0	0	0	0	
合 計	15,600,000	18,401,146	18,710,000	-3,110,000	

支出の部

科 目	27年度予算額(A)	26年度決算額	26年度予算額(B)	(A)-(B)	摘 要
1 事 業 費	8,699,600	13,154,580	13,420,000	-4,720,400	
(1)総会費	1,600,000	1,548,853	1,600,000	0	総会、懇親会費
懇親会費	1,600,000	1,548,853	1,600,000	0	
(2)会報費	2,000,000	1,971,216	2,100,000	-100,000	84、85号制作費
(3)事業通信費	3,200,000	2,786,888	2,800,000	400,000	会報発送費等
(4)OB会補助金	250,000	180,000	250,000	0	
(5)学校補助費	770,000	788,720	700,000	70,000	
卒業生記念品費	320,000	320,720	300,000	20,000	
図書費	200,000	200,000	200,000	0	
校友会補助	250,000	268,000	200,000	50,000	
(6)奨学金基金への寄付	0	5,000,000	5,000,000	-5,000,000	
(7)ホームページ費	129,600	129,600	120,000	9,600	
(8)獨協祭参加費	200,000	411,991	400,000	-200,000	展示物製作費
(9)その他事業費	200,000	0	0	200,000	
(10)慶弔費	200,000	120,000	200,000	0	
(11)渉外費	150,000	217,312	250,000	-100,000	諸会費等(注)
(12)名簿作成費	0	0	0	0	
2 事務費	2,767,200	2,437,305	2,840,000	-72,800	
(1)事務運営費	700,000	611,937	700,000	0	事務通信費、振込手数料等
(2)管理費	1,000,000	865,500	1,000,000	0	人件費、家賃
(3)会議費	400,000	341,886	400,000	0	
(4)旅費交通費	250,000	237,280	350,000	-100,000	
(5)名簿管理費	367,200	367,200	340,000	27,200	
(6)雑費	50,000	13,502	50,000	0	
3 予備費	150,000	0	50,000	100,000	
小 計	11,616,800	15,591,885	16,310,000	-4,693,200	
4 収支差額金	3,983,200	2,809,261	2,400,000	1,583,200	
合 計	15,600,000	18,401,146	18,710,000	-3,110,000	

# 募金実績報告・募金者名一覧

獨協学園創立130周年事業の一環として行われた在校生に向けた奨学金基金増資にあたり同窓会では平成25年度に500万円、26年度に500万円、合計1000万円の寄付を行った。これに対し同窓会の資金拡充と健全化を図るために同窓生より寄付を募り、2年間でおよそ500万円を集めることができました。まことに有

難うございました。

今後も寄付文化を定着させて、健全な同窓会の運営資金を確保していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。なお、独協通信82号以降に寄付をしていただいた方の名前は下記のとおりです。

## 募金者名一覧 (『独協通信 83号』以降)

(順不同・敬称略)

神 山 一 郎 (昭和 20)  
坂 田 明 弘 (昭和 41)  
久保木 哲 彦 (昭和 26)  
深 谷 光 篤 (昭和 58)

根 本 達 久 (昭和 20)  
井 上 吐 州 (昭和 61)  
昭和48卒48会 (昭和 48)  
岩 崎 元 重 (昭和 58)

松 島 正 浩 (昭和 35)  
藤 武 義 人 (平成 2)

## クラス会だより

### 昭和 19 年卒 獨協五三会

2014年11月10日、東中野の日本閣、会員 11、付き添い 1、計12名で開催しました。冒頭、永井君が昔の進軍歌をドイツ語で歌って盛り上げてくれました。戦時下の少年時代を獨協で過ごした私達にとって、菩提樹も野ばらも軍歌も懐かしい思い出のひとつであり、戦友会のご老人達が「ここはお国を何百里」と歌って青春を偲ぶのと同じものなのです。どうぞ大目に見てやってください。

お医者さんの歌橋君は、得意の手品を披露しました。折りたたんだ新聞紙の下から水の入ったビニール袋が、チョロチョロ見え隠れするのもご愛嬌で拍手喝采を浴び、来年もぜひお願いしたいとの希望が多かったようです。

尾島君の付き添いで参加した小乙女幸さんが、CDの伴奏付きで、昔懐かしい歌から早口の英語で訳の分からない現代の歌までメドレーで堪能させてくれました。さすが宝塚仕込みの歌声は素晴らしく、ロハで聴くのはこの時とばかりに「アンコール」の声もかかり



ました。

このようにバンカラとハイカラが仲良く共存する老人のクラス会もなかなかオツなものではないかと自負し、来年も元気で顔を揃えたいと期待しております。

(原 和夫・記)

### 昭和 20 年卒 芽城会

平成 27 年 4 月 29 日、新宿小田急 8 階「楼外楼飯店」で、昭和 20 年 5 卒ドイツ語科クラス会を開いた。このクラスは 3 組あり、約 150 人いたが、皆殆どが米寿を迎える歳になったため、出席は 14 名だけになってしまった。多くは身体の不調を訴え、中には寝たきりや、老人施設に入所しているものもあった。村田昭一郎君は緑内障のため、ほとんど目が見えないとのことと奥様と同伴で出席した。

初めに幹事神山から会計報告等があり、次いで、牧君の音頭で昨年一年間に亡くなった級友 7 名のために黙祷を捧げ、献杯をしてから会が始まった。各々の現況やら自身の体の故障など話題は尽きない。

黒沼君から今年 8 月に獨協在校生で作る「歴史研究会」の諸君に、第二次世界大戦中の中学生の生活などについての座談会をすることをこのクラスが頼まれたとの報告があった。

また牧君から我々が卒業 70 年となり、冥界に旅立たれた友が 95 名にもなった。来年のクラス会はそれらの友を弔うために、法事を鎌倉のお寺で営んでからしようではないかとの畦森君からの提案を皆に披露し同意を得た。

尽きない思い出話に盛り上がり、3 時間余に及ぶ今年のクラス会もお開きとなり、来年の再会を約して解散となった。

出席者：黒沼昭夫、鹿島正安、畦森公望、佐藤徳重、  
鈴木勘也、岡田太一、加藤一郎、細貝祐太郎、  
平澤昭彦、木村保、村田昭一郎（奥様同伴）、  
池田正樹、牧豊、神山一郎（神山・記）



### 昭和 38 年卒 古川38会

本年の古川 38 会は 9 月 20 日（土曜日）17:00 から日立高輪和彊館にて開催いたしました。本年で 10 年連続開催となり、出席者数も昨年同様の 23 名で大賑わいとなりました。

和彊館の意味は彊（つよい）く和を保つという意味で、団結力のある古川 38 会に相応しい会場でありました。開会の挨拶と乾杯の音頭は 10 年振りに一次会出席の江澤敏夫君で、未だに現役の整体師をしているそうです。料理は中華のビュッフェで、さすがに 66 歳を超すと料理もかなり残りました。一人一人が元気な挨拶をしていただき、最後は渡部誠君の三さん七拍子で締めくくりました。3 年後の 70 歳の開催時は 30 人出席目標です。出来れば獨協学園を見学の後、懐かしの椿山荘で開催する旨確認して解散しました。（遠藤和男・記）



### 昭和 41 年卒 独協中学3組クラス会

平成 26 年 11 月 8 日（土）にホテル椿山荘東京にて独協中学 3 組のクラス会を開催しました。今回も他クラスの 2 名や後輩 1 名および知人女性 1 名の出席を得て 19 名の参加者となりました。横山先生は相変わ

らず若々しくお元気で、我々生徒の何人かは先生より年上に見えるほどでした。会場が椿山荘なので目白駅から歩いてきたり、母校の周りを歩いたりした人が多く、50 年以上も前の中学時代を思い出して話が尽きず、あっという間の 2 時間半でした。

参加者は横山先生、鶴久森、江田、小野、小林（宏）、斎藤（憲）、佐伯、三本木、清水、谷山、中沢、中村（修）、中村（直）、成川、渡辺（以上 14 名が 3 組）、渡部、武山、久本小林（渡辺 岳・記）



### 平成 6 年卒 卒業 20 周年記念同窓会

卒業 20 周年の節目を迎える今年（2014 年）の 7 月 13 日（日）、ホテル椿山荘東京のルーム・ペガサスにて同窓会を開催しました。ここ数年、年 1 回は facebook を用いて集まる機会を設けていましたが、せっかくの節目の年、大々的に皆で集まりたいと主幹事（塩高頭一郎）の一声の元、当時の名簿なども引っ張り出し、元生徒 47 人が一堂に集いました。現職の先生方（窪田先生、久慈先生、柳本先生）に加え、すでに退職なされている先生方（新井（洋）先生、音海先生、北原先生）にもお越しいたいただき、20 年という時間を飛び越え、今につながる大事な時間を共有し育んだ同級生や先生方と笑顔で会話を弾ませながら、当時と変わらぬ雰囲気や感覚に心地よく浸っていました。あっという間の 2 時間も名残惜しく、今回欠席の先生方や同級生からも悔やまれる声を多数いただき、より多くの方を巻き込みながら是非またこういう



席を設けたいと幹事の萩原慎二郎、道津大輔共々話しております。出席された方には配布用紙にてお伝えしておりますが、今回不参加ながらも当日の写真観覧希望の方は是非 Facebook もしくはメール (shioken5074@yahoo.co.jp) にてご一報下さい。

(田林綱紀・記、写真：森田敦也)

## 平成 17 年卒 卒業 20 周年記念同窓会

卒業 10 年を記念して、学年全体の同窓会を行いました。恩師や同窓生達と久しぶりの再会をし、素晴らしいひと時を共有しました。

(平成 17 年卒 音楽科 鈴木・記)



## 日本大学松戸歯学部獨協会

去る 3 月 7 日 (土) ホテルラングウッドにて恒例の日大松戸獨協会が開催されました。当日は獨協高校卒業で初めて日大松戸の教授 (解剖 2) に 2/1 付でご就任された岡田 裕之先生のお祝いも兼ねて行ないました。

17 名の卒業生と学生が集い この快挙をお祝いし、大学教員・歯科開業医・勤務医・歯科大生と立場は違いますが、同じ高校同じ大学に学んだ者どうし楽しく歓談しました。岡田先生おめでとうございます。

(昭和 53 年卒 西原由恭・記)



## 剣道部OB会 獨協戸隠会

平成26年12月23日、稽古納めにあわせてOB会が開催されました。稽古納めは学生による剣道形演武、紅白戦と進み、締めは学生とOB全員が竹刀を交えて合同稽古を行いました。総勢20名を超え、体育館には大きな気合いが響きました。稽古後はご父兄に協力頂き、学生とOBによる懇親会が楽しく催されました。ひき続き鬼子母神前の「入り江」にてOB会が開かれ、齋藤師範、顧問の河野先生、鈴木先生をお招きし、OBは17名が出席されました。この度、10年間学生を指導頂いた齋藤師範が27年3月で退任されることが発表され、当日は本学に着任された当時からの指導記録の一部をご持参頂き、師範が当初からいかに誠心誠意学生たちに向き合ってくれたかを知り改めて感謝の念でいっぱいとなりました。OB会は親子ほど年の離れた先輩後輩が楽しく親交を深めることが出来ました。今後の剣道部が今まで学生生活と実技全般を懸命に指導されてきた鈴木先生と新顧問の河野先生(素早い実務とユーモア溢れる話術にびっくり!)にお世話になり益々発展することを願います。以下は当日のOB出席者です。

日名子(昭45)、山口(昭46)、山崎(昭46)、井上(昭48)、佐久間(昭50)、木下(昭50)、沖(昭51)、下條(昭52)、立原(昭52)、大宅(昭54)、山本(平19)、渡辺(平19)、宮川(平21)、北原(平22)、三輪(平24)、名取(平24)、坂本(平25)、石井(平25)、末延(平25)、田代(平26) [敬称略(卒業年)]

(昭和54年卒 大宅・記)



## 私の近況 卒業 10年

● 1990年から5年間、ミュンヘンの製薬会社で役員を務めました時、中学時代に教えられた独逸語の有難さをしみじみ感じました。 <加藤 壽吉 (昭16卒)>

● 日米開戦日、野口啓資先生の英語時代、必来の極秘忠告が、私のハーバード客員研究員、DC 特派員、NY 駐在編集委員の原点。加齢黄斑変性の老残をJ. グリシャム新刊の大活字本（英語）とバッハCDで癒しつつ、〇〇死協会入会を執筆中。

<石原 寛 (昭20卒)>

● 昭和20年5卒は今年米寿を迎えます。" 思えば遠くへ来たもんだ"、年々歳々仲間が去って逝く。小生幸いにして現役歯科医。合気道師範で指導中。偶々与えられた寿命と思うドイツ語科の仲間一芽城会と称すーが心を開いて呑める存在となっている。同時代の友は矢張り共通認識も多い。同窓会の発展を希望します。

<畦森 公望 (昭20卒)>

● 昭和20年、旧制中学制度で最後の五年卒、且つ卒業式も無しの鬼子である。戦争、憲兵、特高の世に多感な少年期を送る。五年間勉学と苦役を共にした仲間には戦友意識が育まれたのも宜べなるかな。独協は心の古里。古里は永久に美しくあれと願う。今年の芽城会に郷愁を求めて何人が集まれるだろう？

<畦森 公望 (昭20卒)>

● 追憶はとめどなく湧いてきますが、近況は通院と老弱のことばかりです。石井進君の御尽力のトロッコ会に1回出たきりです。清成慶雄君が電話をくれました。

<藤富 保男 (昭20卒)>

● 戦争中の在学、訓練、鍛錬の毎日で武道は寒・暑中稽古、教練は行軍大國魂神社・日光戦場ヶ原、野営は習志野等大変なことばかりだったが明るく過した。社会に出てから、それが役に立っていた。

<黒沼 昭夫 (昭20卒)>

● 卒業して70年。友は数えまたは満で米寿を迎えた。昨年現役引退。目下趣味三昧の日々。幸に健康に恵まれ感謝々々。現在の心境は「黄梁一炊夢」です。

<神山 一郎 (昭20卒)>

● 独逸協会中学校に入学したのは第2次大戦の始まった1940年であるが、卒業は終戦の年であるので、中学生生活は全く戦時中であつた。このため良い思い出などないと云っても過言ではない。しかし医者にしてくれた東京慈恵会医科大学には入学当時から最近、10年位前までは多くの独協出の方々がおられたので、慈恵独協会も盛会であつたが、このところ独協からの入学者が全くなく寂しい次第です。

このようなわけで、独協中学でのことは残念ながら良い思い出はほとんどは。独協中学は第一次大戦直後までは、当時の府立一中（現日比谷高校）と並び当時の第一高等学校（現東京大学駒場校）の理乙部に大勢

の方が入学されており、更に東大医学部に進まれておられた。現在の独協との差は大きい。私も独協に入学した頃は父親と同じように独協、第一高等学校を夢見ていたが、かなわなかった。

ところで、我が家は独協と深い縁がある。母親の家は茨城県筑波郡関場村（当時の）で15代医者をしてしたが、跡取りが居らず長女には独協、一高、東大出の医師がお婿さんとしてこられた。しかし残念ながら当時日本人を悩ましていた、肺結核で早世されてしまった。次女は後に長崎医科大学学長をされ、原発で亡くなった角尾 晋に嫁ぎ、この伯父は独協4卒で一高に入学、東大医学部は銀時計であつた。3女の私の母親は父永野 達に嫁ぎ、やはり独協、一高、東大第二内科の呉 建先生の弟子であつた。

幸い角尾家も、私の家にも医師が孫の台まで居りますので母親の張谷家も17代目まで続けることが出来ている。（永野 允：東京慈恵会医科大学、名誉教授）

<永野 允 (昭20卒)>

● 中学、高校を楽しかった独協での6年間懐かしいですが、当時の友人と全く交信がなく、今どうされているか気になります。15年程前にサラリーマン生活を終え、今はのんびり散歩と読書を楽しんでいる毎日です。

<野村 恭弘 (昭30卒)>

● 30年度卒、日大獣医学部大学院卒、日米文化交換留学生としてペンシルバニア大学獣医学部及びハトボロー総合動物病院に勤務。1964年日本橋通3丁目と調布市に小動物の病院を開業。現在は退職し、ボランティアにて働いて居ります。友人4人を亡くし、年の達つのがおどろいて居ります。

<沢辺 省三 (昭30卒)>

● 元気です。78才。

<吉野 実 (昭30卒)>

● 昭和三十年は天野先生が校長になられた時代でした。大学二年の時、英語の実習で、訪れていた私は、偶然にもドイツ語の実習で訪れていた酒井先輩に会い、今では懐かしい思い出です。

<川村 考一 (昭30卒)>

● 団塊世代の為、一時、プレハブ校舎での授業と体育館新築時、作業員が真っ赤に焼けたリベットを下から投げ上げ、屋根に居る仲間がバケツで受け鉄骨に打ち込んでいる姿を教室から眺めていたことが、懐かしい思い出です。

<足立 愛輝 (昭40卒)>

● 年に1回、剣道部の稽古納めに参加し、先日はその後の現役との懇親会で新しくなった校舎内に初めて入りました。婦人科勤務医ですが、七段を目指して稽古しています。

<佐久間 洋 (昭50卒)>

● 医療法人・社会福祉法人の理事長及び病院長業務の傍、岩手県医師会常任理事、紫波郡医師会長、日本慢性期医療協会理事等周辺業務も多くなり、多忙となっ

て参りました。

＜木村 宗孝（昭50卒）＞

●小学生からの趣味（自転車）を途切れなく続けており、いまだに富士SWを走行しております。家業でない歯科医師になれた事、趣味が続けられる事、健康でいられる事、良き友に恵まれている事、このすべてが出来ききっかけも1969年、中学入学の独協あればこそ、と常日頃思う今日この頃です。

＜齊藤 勝一（昭50卒）＞

●東京を離れ30年、岡山の地でいつの間にか院長になり、地域医療をがんばっています。池袋、江古田、石神井公園に行くこと夢見ています。

＜森下 紀夫（昭60卒）＞

●平成13年に東邦大学を卒業、同大学で13年間腎不全外科腎移植を専攻してきました。現在は地元、浦安中央病院で腎泌尿器医師として包括的な地域医療を行っています。獨協を卒業して早20年ですが、人生

の良い部分はまだまだこれからです。

＜高須 二郎（平5卒）＞

●今年の2月に新しい校舎を拝見いたしました。昔の面影はないものの大変懐かしく、又何人か先生方をお見かけして色々学生時代の事を思い出しました。

＜久保田 伊哉（平7卒）＞

●昨年より能楽囃子方の大倉流小鼓を稽古しています。平成27年春、松濤の現世能楽堂で初舞台「船弁慶」を打つ予定です。いずれは子ども達と一緒に稽古出来たらと存じます。

＜春宮 淳一（平7卒）＞

●現在日本歯科大学にて博士論文の執筆真っ最中です。獨協の同級生とは月に数回は会い、酒を酌み交わしています。今でも獨協時代を懐かしく、また昨日のことのように思い出します。

＜河合 貴俊（平17卒）＞

## 獨協中学・高等学校PTAより「獨協祭・バザー用品ご寄付のお願い」

PTA会長 小西 善史

昨年は、多くの同窓生の皆様より獨協祭・バザーにご協力いただきまして誠に有り難うございました。おかげさまで例年以上の収益金をあげることができ、子供たちに還元することができました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今年も9月19日（土）・9月20日（日）の日程にて、獨協祭が開催されます。

PTAでは昨年に引き続き、同窓生の皆様に獨協祭に参加していただき、更にバザー用品のご寄付ならびにご提供もお願いしたいと考えております。

バザーの収益金は、学校の施設改善費の一部ならびに学友会への補助金としてクラブ活動等の活性化に役立てられています。皆様には、後輩である在校生のために、お手元に眠っているお品物がございましたら、下記要領をご参照のうえ、ご提供下さいますようよろしくお願い申し上げます。

また、獨協祭ならびにバザーにも、ぜひ一度遊びにいらしてください。在校生、PTA委員一同、心よりお待ちいたしております。

### 記

#### 1. バザー用品受付期間とご提供の方法

- ・8月31日（月）～9月18日（金）
- ・宅急便にて下記迄お送りください。

（元払いでお願い致します。）

〒112-0014 文京区関口3-8-1

獨協中学・高等学校「PTA厚生委員会」

TEL 03-3943-3651

- ・直接学校へご持参いただく場合は、主事室前廊下で受付しております。

\*お問い合わせ先 事務・淀縄（よどなわ）まで  
（ロックアウト期間中の8月を除く）

#### 2. ご提供品について

- ・新品もしくは未使用のものをお願い致します。
- ・会社名などが入っているもの、試供品・景品・粗品などはご遠慮ください。
- ・食品は賞味期限に余裕のあるもの、未開封のものをお願い致します。



## 物故者名簿 (『独協通信』 82 号以降) ご冥福をお祈り申し上げます

卒業年	氏名	物故年月日	昭和 19 年	吉見 嘉男	2014/01/17	昭和 28 年	菊池 豊	2013/12/28
			昭和 20 年	成瀬 三雄	2015/03/08	昭和 28 年	鈴木 孝男	2014/01/25
昭和 11 年	高橋 善三	2014/06/11	昭和 20 年	高梨 馨	2003/11/15	昭和 30 年	岡本 篤弘	2014/05/21
昭和 11 年	安田 頼仁	2011/11/21	昭和 20 年	根本 達久	2015/04/06	昭和 31 年	木村 繁	1996
昭和 12 年	豊泉 尚朗	2011/05/22	昭和 20 年	田口 昭	2015/04/01	昭和 31 年	近藤 元彦	2014/01/20
昭和 16 年	景山 洋二	2008/ 9 月	昭和 20 年	竹田 正	2015/01/11	昭和 32 年	内野 安祐	
昭和 16 年	山本 文雄	2014/03/03	昭和 20 年	相澤 陽一	2014/05/16	昭和 34 年	鈴木利一郎	2014/03/11
昭和 16 年	岩田 惇	2013/11/16	昭和 20 年	篠塚 昭夫	2015/03/27	昭和 35 年	早川 武男	2014/03/14
昭和 17 年	木暮 靖	2014/09/24	昭和 21 年	有馬憲四郎	2014/06/13	昭和 36 年	新井完一郎	2015/03/14
昭和 17 年	張 俊一郎	2014/10/02	昭和 22 年	高橋 秀夫	2014/08/02	昭和 37 年	金 総領	2013/07/30
昭和 17 年	永田 晃	2012/09/20	昭和 22 年	宮内慶之輔		昭和 41 年	磯 隆	2015/04/08
昭和 17 年	中島 斯郎	2013/09/29	昭和 25 年	佐藤 直治	2012/07/22	昭和 42 年	見須 明	2012/07/20
昭和 18 年	佐藤 一郎	2014/ 9 月	昭和 25 年	白井 一男	2014/05/05	昭和 43 年	島田 政雄	2014/03/10
昭和 18 年	塩沢 有也	2015/ 2 月	昭和 26 年	竹田 繁雄	2014/ 2 月	昭和 46 年	村山 修二	2013/03/04
昭和 18 年	西崎 縁		昭和 27 年	砂川 英雄	2014/03/20	昭和 46 年	山下英二郎	
昭和 18 年	堀江 悟	2013/10/18	昭和 27 年	富田 真弘		昭和 50 年	草谷 恵一	2012/02/14
昭和 18 年	渡辺 愛生	2013/01/26	昭和 27 年	笹島 光雄	2013/11/29	昭和 51 年	中谷 基	2013/09/26
昭和 19 年	大原 春夫	2012/ 2 月	昭和 27 年	松崎 有宏		昭和 53 年	金井 利博	
昭和 19 年	柴田 伸夫	2014/ 1 月	昭和 27 年	青木 繁明	2015/03/11	平成 01 年	田中 賢史	2006/03/16

## OB会の活動状況など獨協祭への参加を募集しています

9月19日(土)~20日(日)

限られたスペースですが、希望されるOB会を募集しています。

2014年は、ドクターズクラブ、歯科医師獨協会、サッカー部OB会、が展示しました。

ご希望のOB会は次のアドレスへ、メールにてお申込みをお願いします。info@dokkyo-mejiro.com

広報委員 沖山秀司 (S49 卒)



## 編集後記

長い間獨協同窓会で独協通信の編集に携わってこられた現副会長の竹内文生さんが仕事の関係でこの4月より仙台に転勤されました。

竹内さんは昭和46年に獨協高校を卒業され、当時としては数年に一人しか合格できなかった東京大学に入学された秀才で、獨協同窓会のまさにプレインです。「独協通信のことは竹内さんに任せておけば大丈夫」と誰もが思っていました。急遽ほとんど編集の経験がない残ったメンバーで84号を作りました。

期日に追われ、また十分な校正をする時間もなく誤字や編集ミスが多々あることと思いますが、ここでお詫び申し上げます。そして、今までの竹内さんのご苦勞を鑑み、改めて感謝の意を表します。

さて、今年は戦後70年にあたり歴史研究会の学生たちが昭和20年に卒業した同窓生を集めて座談会をする企画があります。同窓会でも戦中、戦後の混乱期の卒業生の資料を集め、次号の獨協通信や獨協祭のパネル展示に活用しようと考えています。当時の情報をお持ちの方は同窓会までご連絡下さいますようよろしくお願いいたします。

今後とも皆様に期待していただける独協通信を発刊していく所存ですが、クラス会、OB会、多職種の集いなど情報をお寄せください。また、編集の経験を問わず参加して下さる方を募集しておりますので重ねてお願い申し上げます。

文責 木原正義